

はくぶつかん おうちで博物館ぬりえ かいせつ

【012 ペリー】

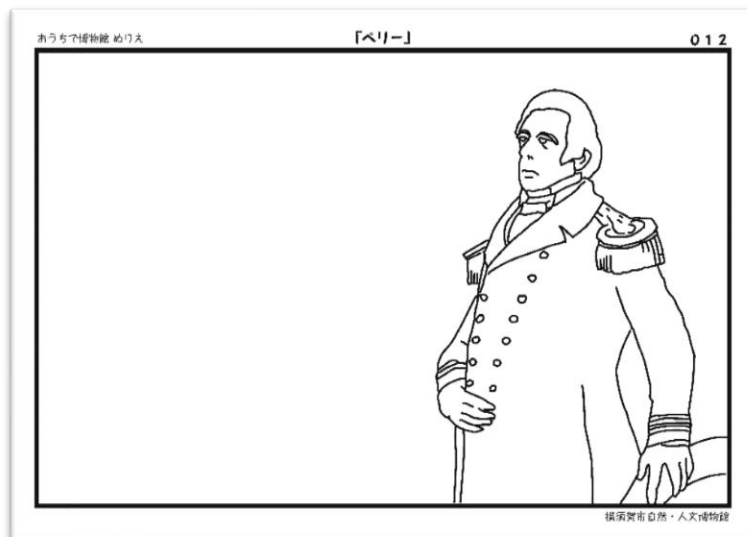
解説：このぬりえのモデルになっているペリーは、アメリカ東インド艦隊司令長官マシュー・カルブレイス・ペリー（1794-1858）のことで、

ペリーは軍艦をひきいて二度日本を訪れました。一度目の来航は、嘉永6年（1853）6月のことで、いわゆる「鎖国」政策下にあった日本に開国をせまる使者として来航しました。この年には、幕府役人と会談を行うため、久里浜村（現在の

横須賀市久里浜）の海岸に上陸しています。そして、翌嘉永7年（1854）正月にふたたび日本に来航しました。そして、幕府との交渉の末、日本とアメリカとのあいだで「日米和親条約」が調印されました。この条約により日本は、下田（現在の静岡県下田市）と箱館（現在の北海道函館市）を開港し、いわゆる「鎖国」体制は終わりを告げました。

展示：ペリーに関する展示は、人文館2階「ペリー来航から横須賀製鉄所へ」のコーナーで見られます。

対象：大人向け。



ぬりえ図案「ペリー」（実際はA4判）



ペリー